

RXE-100 リモート拡張ユニット

8684-1RX

[+ My リンクに追加](#)



[↓ 製品概要](#)

[↓ 接続方法](#)

[↓ 製品仕様](#)

製品概要

I/Oの拡張を柔軟にサポートする RXE-100リモート拡張ユニット

必要に応じてシステムを柔軟に拡張できること — それがエンタープライズ X-アーキテクチャ (EXA) が提供する機能のひとつ、XpandOnDemandスケーラビリティです。

従来のIAサーバーでは、多くのI/Oを利用したい場合、追加のサーバーを導入する必要がありました。

しかし、このRXE-100 リモート拡張ユニットを活用し、高速インターコネクト・ケーブルで接続すれば、CPUを搭載した高価なサーバーを購入することなく、よりリーズナブルな価格でI/Oスロットを拡張することができます。

RXE-100 リモート拡張ユニット

- ・ 3Uラック・マウント型の筐体
- ・ 標準でフルサイズのPCI-X対応スロット 6個 (100MHz × 6個または133MHz × 3個) を搭載し、オプションでさらに6個拡張可能
- ・ RXEマネージメント・コントローラーを装備しxSeries 360およびxSeries 440のリモート管理アダプターと連携してシステム管理が可能
- ・ Light Path診断機能も装備
- ・ ホット・スワップ対応の2つの電源と4つの冷却ファンを装備

インターコネクト・ケーブル

- ・ RXEマネージメント・コントローラーとサーバーのリモート管理アダプターとを接続するケーブル
- ・ 3.5m、8mの2種類の長さから用途に応じて選択可能
- ・ 標準で3.5mを1本同梱

リモートI/Oケーブル

- ・ サーバー本体のRXE拡張ポートとRXE-100側のポートを接続するケーブル
- ・ 3.5m、8mの2種類の長さから用途に応じて選択可能
- ・ 標準で3.5mを1本同梱



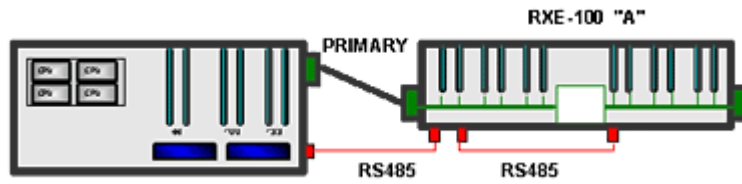
[↑ 上に戻る](#)

IBM eServer xSeriesとRXE-100との接続方法

xSeries 440/360 1台とRXE-100 1台との接続

- ・ xSeries 440/360 1台と、RXE-100 1台を リモートI/O経由で接続することができます。
- ・ xSeries 440/360 1台に最大12個のPCI-Xスロットを追加し、利用することができます

・す。



[↑ 上に戻る](#)

RXE-100 の主な仕様

本体	業界標準ラックに搭載可能、高さ3U
I/Oスロット	64bit PCI-Xスロット6個を標準装備(133MHz×3個 あるいは100MHz×6個をサポート) オプションとしてPCI-Xスロット6個を追加可能
システム管理プロセッサ	内蔵
I/Oポート	I/Oスロット6個につき、RXE拡張ポート1個、およびインターコネクト管理ポート1個
供給電源	370Wホット・スワップ電源2個
Light-Path機能	電源とは独立して機能
サポートしているOS	サポートしているOSは、サーバー・モデルによって変わります。 詳細については各製品のWebサイトを参照ください。

[↑ 上に戻る](#)

- 1 このカタログで使用されている製品の写真は、出荷時のものと一部異なる場合があります。また、仕様は事前の予告なしに変更する場合があります。
- 2 画面ははめ込み合成で実際の表示とは異なります。
- 3 このカタログの情報は2002年3月現在のものです。
- 4 製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。
- 5 当カタログ記載の製品にプリインストールあるいは添付されているソフトウェア製品につきましては、その梱包方法および内容物に関し、市販されているものとは異なる場合があります。

- ・ IBM、eServer、xSeries、ServerGuide、ServeRAIDは、International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標。
- ・ Microsoft、Windows NTおよびWindowsロゴはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における商標。
- ・ Intel、Xeonは、Intel Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標。
- ・ 他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。